

幼保1年の授業紹介

子どもの生活と運動遊び i

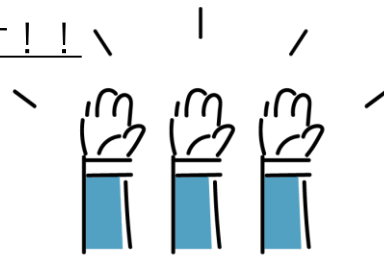
後期の途中から体育館での活動になります。体育館で幼児のレベルに合わせたマット運動やボール遊び・リレー・ダンスなどをして体を動かします。

授業の一番の特徴は、「受け身」ではなく「自発的」だということです。先生の話聞きながら授業を進めるのではなく、生徒が説明をしながら授業を進めていきます。遊びの内容やルール・説明・ダンスの振りなどを生徒の前に立ち、指導します。

めっちゃめっちゃ緊張します…

また、授業の雰囲気もとても良く、運動が苦手な生徒に「頑張れ！」「君ならできるよ！」などの声かけがあったり、運動が得意な生徒に「すごい！」と拍手をしたりするような優しい空間です。ちなみに、冬になると雪だるま作り競走や、スノーボードなど雪を使った運動遊びを行います。

本学の体育は一人一人が楽しめる授業です！！



保育実践と青森 表現(造形)

造形室で行う、造形・工作中心の活動です。

お菓子の空き箱やトイレットペーパーの芯などの“廃材”を使って、動物をテーマに作品を作り、また違った目線での使い方を知りました。

そして先日は10人ほどで壁画の共同制作を行いました。

テーマは水族館でまずは海藻・岩づくり班と画用紙くっつけ班に分かれて土台を作った後、一人ひとり思い思いの生き物を画用紙の切れ端を使って作りしました。出来た生き物たちを大きな白い画用紙の好きな場所に貼っていきました。いろいろな個性がにじみ出ていて、一人では作ることのできない世界ができ、とても楽しい活動でした。

→ 自分を表現できて楽しい授業です！(ルポライター・T)



保育実践と青森(言葉)

前期は教科書を用いたプリントでの授業、後期では実際に読み聞かせの演習をします。

読み聞かせでは、各自、好きな絵本を持ち寄り、各グループに分かれて読み聞かせを行います。読み聞かせの絵本は、本学の図書館から借りたものや、もともと自分が持っているものなど様々です。

自分の読み聞かせが終わったら、同じグループの生徒に「もっとこうした方がいいよ」「ここが良かったよ」など評価してもらい、自分の技術を高めていきます。

最後は、生徒全員の前で1人ずつ読み聞かせを行います。

絵本を読む前の導入から、読み終わったあとに「絵本〇〇、おしまい。」までの一連の流れを、実際に子どもに読み聞かせをするときのように行います。とても緊張しますがいい経験になります。

もちろん、後期でも教科書を見ながら進める授業があります。後期は前期よりも、より濃い内容の授業になっています。



乳児保育II

1年生では通年の授業です。0・1・2歳の乳児の発達について主に学習します。

言葉の授業と同じように前期では先生が作成したプリントを用いた授業、後期では遊びの演習や「こういうとき、あなたならどうする?」と問いかけられることが多く、自分の思っていることを発表する機会が多々あります。ちなみに私は毎時間のように当てられている気がします。

先日では数人のグループで話し合い、1つのテーマ曲を決めて紙コップや折り紙を用いて手作りおもちゃを作り、前に出て発表をしました。

私の班では、節分をテーマに「豆まき」を歌いながら、段ボールで作った鬼の口に豆を投げるといふ発表をしたところ、大好評で実際の保育の場でもやってみたい!と感じました。



本学の先生方は優しく面白い方ばかりで毎日が楽しいです

